

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	エコミラ江東
住所	東京都江東区潮見1-29-7
電話番号	03-5632-8815

事業所番号	1310801632
管理者名	鳥海 武
対象年度	令和3年度

(I) 労働時間		55 点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満	○	
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動		40 点
①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	○	
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上		
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上		
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
①40点 ②25点 ③20点 ④5点		

(III) 多様な働き方（※）		25 点
◎ ①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
◎ ⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
◎ ⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
小計（注1）		6
①任意の5項目を選択すること		②8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(IV) 支援力向上（※）		25 点
◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上半数未満であった		
参加した職員が半数以上であった	○	
◎ ②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回の場合	○	
2回以上の場合		
◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
いずれの取組も行っている		
◎ ④販路拡大の商談会等への参加		
1回の場合	○	
2回以上の場合		
◎ ⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している		
◎ ⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
◎ ⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	○	
◎ ⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）		7
①任意の5項目を選択すること		②8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	55
生産活動	5点	20点	25点	40点	45点	55点	70点	80点	40
多様な働き方	0点	15点	25点	35点	45点	55点	70点	80点	25
支援力向上	0点	15点	25点	35点	45点	55点	70点	80点	25
地域連携活動	0点	10点	20点	30点	40点	50点	60点	70点	10

合計		155	点	／200点
----	--	-----	---	-------

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I ～ IV）

(I) 労働時間					
前年度（令和元年度）					
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	14,064	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	2,811	人
				利用者の1日の平均労働時間数	5
		時間			時間
(II) 生産活動					
会計期間（4月～3月）					
前々年度（平成30年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	15,941,895	円	利用者に支払った資金総額	15,917,453	円
				収支	24,442
					円
前年度（令和元年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	14,045,232	円	利用者に支払った資金総額	14,045,232	円
				収支	0
					円
(III) 多様な働き方					
前年度（令和3年度）における実績（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）					
<b>①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度</b>		<b>②利用者を職員として登用する制度</b>		<b>③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律</b>	
◎免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を活用した人数 ●名 ※取得を進めた免許等：○○○ 制度の活用内容：○○○ ○○○		◎職員として登用した人数 ●名 ◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している ◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している ※登用した日 ●年 ●月 ●日 勤務形態：○○○ 就業時間：●時●分～●時●分 職務内容：○○○		◎在宅勤務を行った人数 ●名 ※実施した期間：●月●日～●月●日 就業時間（在宅勤務）：●時●分～●時●分 職務内容：○○○	
<b>④フレックスタイム制に係る労働条件</b>		<b>⑤短時間勤務に係る労働条件</b>		<b>⑥時差出勤制度に係る労働条件</b>	
◎フレックスタイム制を活用した人数 ●名 ※実施した期間：●月●日～●月●日 就業時間（コアタイム）：●時●分～●時●分 職務内容：○○○		◎短時間勤務に従事した人数 ●名 ※実施した期間：●月●日～●月●日 就業時間（短時間）：●時●分～●時●分 職務内容：○○○		◎時差出勤制度を活用した人数 2名 ※実施した期間：4月1日～3月31日 就業時間（早出の場合）：8時00分～15時00分 就業時間（遅出の場合）：●時●分～●時●分 職務内容：トレイ等分別投入作業	
<b>⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度</b>		<b>⑧傷病休暇等の取得に関する事項</b>			
◎時間単位取得を活用した人数 ●名 ◎計画的付与制度を活用した人数 ●名 ※取得した制度（有給休暇の時間単位取得） 計画的付与制度 取得した期間：●月●日～●月●日 取得日数・時間 ●日 ●時間		◎傷病休暇等を取得した人数 ●名 ※取得した内容 ○○○ 取得した期間：●月●日～●月●日 就業時間：●時●分～●時●分 職務内容：○○○			
(※) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載					
(IV) 支援力向上					
前年度（令和3年度）における実績（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）					
<b>①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会</b>		<b>②研修、学会等又は学会誌等において発表</b>		<b>③視察・実習の実施又は受け入れ</b>	
◎研修計画を策定している ◎研修実施回数 外部 ●回/内給 1回 対象職員数 3人 うち研修受講者数 3人 ※研修よりサイクルに関する品質向上への取組策 研修講師 藤田 達弘 実施日・受講者数 12月10日 3人		◎研修、学会等又は学会誌等において発表している回数 1回 ※研修、学会等名 障害者雇用への取組 実施日 11月30日 ※学会誌等名 ○○○ 掲載日 ●月●日 発表テーマ 環境・福祉・教育の融合		◎先進的事業者の視察・実習の実施している ◎他の事業所の視察・実習を受け入れている ※先進的事業者名 ○○○○ 実施日/参加者数 ●月●日 ●人 ※他の事業所名 ピアアテらす 実施日/参加者数 11月17日 1人	
<b>④販路拡大の商談会等への参加</b>		<b>⑤職員の人事評価制度</b>		<b>⑥ピアサポーターの配置</b>	
◎販路拡大の商談会等への参加回数 1回 ※商談会等名 再生製品の紹介等 主催者名 エコミラ江東 日時 4月9日 内容 ベレット・インゴット製品紹介等		◎職員の人事評価制度を整備している ◎当該人事評価制度を周知している 人事評価制度の制定日 ●年●月●日 人事評価制度の対象職員数 ●名 うち昇給・昇格を行った者 ●名 当該人事評価制度の周知方法 ○○○		◎ピアサポーターを配置している ◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している ※配置期間 ●月●日～●月●日 就業時間 職務内容 ○○○	
<b>⑦第三者評価</b>		<b>⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等</b>			
◎前年度末日から過去3年以内に 福祉サービス第三者評価を受けている ※評価を受けた令和元々 10月29日 第三者評価機関 (株)日本生活介護		◎国際標準化規格が制定したマネジメント規格等の認証等を受けている ※認証を受けた日 ●月●日 規格等の内容 ○○○			
(※) 実績のうち1事例を記載					

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。  
必要に応じて行を増やす等、

## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	エコミラ江東	事業所番号	1310801632
住 所	東京都江東区潮見 1-29-7	管理者名	鳥海 武
電話番号	03-5632-8815	対象年度	令和3年度

## 地域連携活動の概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p><b>【活動場所】</b> エコミラ江東（江東区）        /進栄化成（足立区）平和化学工業所（市川市）/        市川環境エンジニアリング（市川市・江東区）        実施日程：2021年6月～2022年3月頃</p> <p><b>【実施した生産活動】</b>        ホテル等むけサービスホテル等数店舗で使用</p> <p><b>【利用者数等】</b></p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p>  <p>エコミラ江東：再生ポリスチレン製造（食品容器由来）</p>  <p>進栄化成：再生ポリエチレン製造（キャップ由来）</p> <p>二つの原料を混合し成形性を向上。        デザイン性（高級感）も付与。</p>  <p>再生製品でありながら見栄えする製品が完成。</p>
<p>&lt;目的&gt; <small>地域連携活動のねらい地域にとってのメリット対象者にとってのメリット</small></p> <p>エコミラ江東の原料（江東区民が分別した容器等から製造）と、        使用済みペットボトルのキャップ由来の原料（進栄化成）を活用し、        シャンプー、ボディソープ等の容器開発を実施。        デザイン性を付与することでリサイクル材でありながら高級感を出すことができ、今後の拡がりを期待できる製品となった。</p>	
<p>&lt;成果&gt;</p> <p><b>実施した結果</b>        販売できるレベルの製品に至った</p> <p><b>得られた成果</b>        エコとデザイン性の両立</p> <p><b>課題</b>        更なる応用製品への展開</p>	

## 連携先の企業等の意見または評価

<p><b>連携した結果に対する意見または評価／今後の連携強化に向けた課題</b></p> <p>ポリスチレン（以下「PS」）は割れやすい性質があるためボトル成型などには不向きとされ、再生材になると更に条件は悪くなる。つまりエコミラ江東の再生PSのみでボトル成型する場合、強度不足や割れなどの懸念がでてくる。しかしながら、エコミラ江東の再生PSに進栄化成の再生PS（ポリエチレン）と組み合わせることで夫々の素材の良さが発揮され、耐久性や強度等を有するボトルを製造できることがわかった。これはエコミラ江東の協力、進栄化成、平和化学工業所の支援があったからこそこの成果といえる。</p> <p>また、本開発では再生製品というマイナスイメージを払拭させるためデザインや形状にもこだわり、高級感のある製品に仕上げている。これにより一部のホテル等での採用も決まっており、今後の応用開発にも期待ができる。</p>			
連携先企業名	株式会社市川環境ホールディング	担当者名	篠田達弘